



REIC ニュース

No.5
2017 Apr

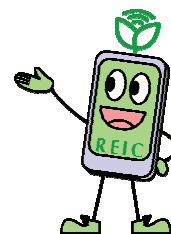
特定非営利活動法人
リアルタイム地震・防災情報利用協議会



花便りが各地から届き、新緑の葉が茂る季節となり、REICニュースも創刊一周年をむかえました。紙面でお届けしきれない情報については、REICホームページやFacebookでも随時お届けしております。ぜひそちらも合わせてご覧くださいませ。

コンテンツ

- ◆ REIC活動報告：第21回 震災対策技術展
- ◆ REIC調査報告：「緊急津波避難情報システム」総括 REIC理事長 大保直人
- ◆ REIC調査報告：東日本大震災からの復興を遂げた日本三景「松島」 REIC常務理事 上村良澄
- ◆ 地震データ：2017年1月～3月
- ◆ 事務局より



REIC活動報告：第21回 震災対策技術展

第21回「震災対策技術展」が2月2日～3日の2日間、パシフィコ横浜で開催されました。昨年は4月の熊本地震に始まり、台風10号・鳥取地震・阿蘇山噴火等、多くの自然災害が発生した影響もあり、防災意識が再び高まったせい、2日間の来場者数は18,468名（昨年16,067名、震災展事務局発表）となりました。REICでは、今年も展示会場にブースを出すとともに、2月2日同会場アネックスホールにて、国立研究開発法人防災科学技術研究所（以下、防災科研）との共催で「第16回 国土セーフティネットシンポジウム」を、企画・開催しました。プログラムは、下記のとおりです。

◆第16回 国土セーフティネットシンポジウム「自然災害に立ち向かうSIP ～世界一の防災技術をどう活かすか～」◆

1. 開会挨拶：林 春男 防災科学技術研究所 理事長
2. 来賓挨拶：松室 寛治 文部科学省 研究開発局 地震・防災研究課 防災科学技術推進室長
3. 基調講演：「熊本地震の教訓 ～想定される首都直下地震への備え～」
平田 直 東京大学地震研究所 地震予知研究センター センター長・教授
4. 「熊本地震に活かしたSIPの成果」
藤原 広行 防災科学技術研究所 レジリエント防災・減災研究推進センター センター長
臼田 裕一郎 防災科学技術研究所 総合防災情報センター センター長
5. 「豪雨災害へのSIPの活用と課題」
岩波 越 防災科学技術研究所 レジリエント防災・減災研究推進センター 研究統括
6. REIC特別講演：「東京ガスの地震防災対策」
小山 高寛 東京ガス株式会社 防災・供給部 防災グループ グループマネージャー



基調講演：東京大学 平田直教授

本シンポジウムの来場者は、当日来場者も含め約200名（関係者除く）と、過去最高となりました。来場者アンケートには、SIPの早期実用化を期待する声も多くあり、充実した内容であったことが伺われました。

展示ブースでは、緊急地震速報（予報）と緊急津波避難情報システムについて、ビデオ・デモ画像でご紹介しました。

■「緊急津波避難情報システム」は信頼性を高めて利用拡大へ

REICは、平成23年度より(一社)東北地域づくり協会の建設事業に関する技術開発支援を受け、東北大学災害科学国際研究所 今村文彦教授、東京大学地震研究所 堀宗朗教授等との共同で「緊急津波避難情報システム」を構築した。

このシステムは、緊急地震速報を利用し、津波を引き起こす地震、沿岸地域を襲う津波の高さ、そして住民にとって適切な避難場所情報の提供、並びに緊急津波避難情報を防災関係者に伝える機能や、住民の安否情報を家族で共有する機能も有している。

「緊急津波避難情報システム」は、宮城県・名取地区、仙台地区および宮古地区で運用され、平成28年11月22日に発生した福島県沖地震でシステムの機能が活かされた(参考:REICニュースNo.4)。

平成28年度は、本システムの更なる利活用を促す目的で、次の活動を実施した。

1. 平成28年12月より開催された総務省消防庁主催の「避難支援アプリの機能に関する検討会」にて本システムを紹介、出席者の注目を浴びた。

なお、本検討会の成果は以下のサイトで公開されている。

http://www.fdma.go.jp/neuter/about/shingi_kento/h28/hinanshien_appli/index.html

2. 第22回:三浦半島地域防災懇話会で紹介(写真-1)。

防衛大学 佐藤紘志名誉教授が三浦半島の防災力の向上を目的とした会合「第22回三浦半島地域防災懇話会」にて紹介。出席した防衛大学 八木宏教授、加藤健准教授から高い評価を得た。また、神奈川県三浦市防災担当者より津波避難訓練での活用を検討したいとの意見を貰った。

3. 宮城県松島町環境防災課での机上訓練を実施

4. 岩手県大船渡市さいとう製菓工場での避難訓練(写真-2)

さいとう製菓工場内にある津波伝承館にて、さいとう製菓工場従業員・大船渡地区の防災士およびさいとう製菓販売店店員(大船渡、他地域)が参加した津波避難訓練を実施した。訓練終了後、東海新報社からヒアリングを受けシステムの有効性が紹介された。



写真-1 防災談話会参加者



写真-2 さいとう製菓参加者

本システムを活用した地域の津波避難訓練については、REIC事務局にお問い合わせ下さい。

REICでは、今後予測震度情報、および気象情報などの提供する機能を充実させ、各種自然災害におけるリアルタイム情報の提供を目指しております。

注目! REIC会員からのお知らせ

日東工業株式会社：業界初！感震機能付ブレーカー開発（2017.4.10ニュースリリース）

日東工業(株)は、業界初となる感震リレーとブレーカーが一体化した「感震機能付ブレーカー」を開発しました。

家庭用ホーム分電盤および産業用分電盤に取付け可能で、住宅以外の工場、飲食店などにも使用範囲が広がり、「感震ブレーカー」の普及促進に貢献します。発売時期は8月頃を予定しています。

お問合せは、日東工業(株)広報室広報課まで。 <http://www.nito.co.jp/>



REIC調査報告：東日本大震災からの復興を遂げた日本三景「松島」

「世界で最も美しい湾クラブ」に、我が国で初の加盟登録となった松島湾（宮城県松島町）。世界的にも風光明媚な湾を形成しており海の幸も豊富な地域として、国内外から多くの観光客が訪れる地域である。

人口約1万5千人の松島町は、平成23年3月11日（金）に東日本大震災に見舞われた。人的被害（松島町内で亡くなった方3人）を初め家屋の倒壊（全壊221戸、大規模半壊362戸、半壊1,231戸等）、津波による浸水面積170.6ヘクタールという大きな被害を受け、観光客や住民はもとより多くの施設にも甚大な被害をもたらした。被災時約1,200名の観光客は、4・5日後無事帰途できたことは、事前の防災対策とともに、町役場を中心に地域住民の絆がもたらしたものと報告されている。

震災後、多くの関係機関との災害支援協定を締結するとともに、太陽光発電施設の整備を初め、災害時の防災機能の強化を図り、住民らとともに新しい街づくりを創造する事業を積極的に推進し、見事な復興を遂げ、観光客も震災前の状況まで復興を遂げた。

特に、松島のシンボルである五大堂を見渡せる雄島の渡月橋も津波により落橋し見事に復活した（写真-1）。

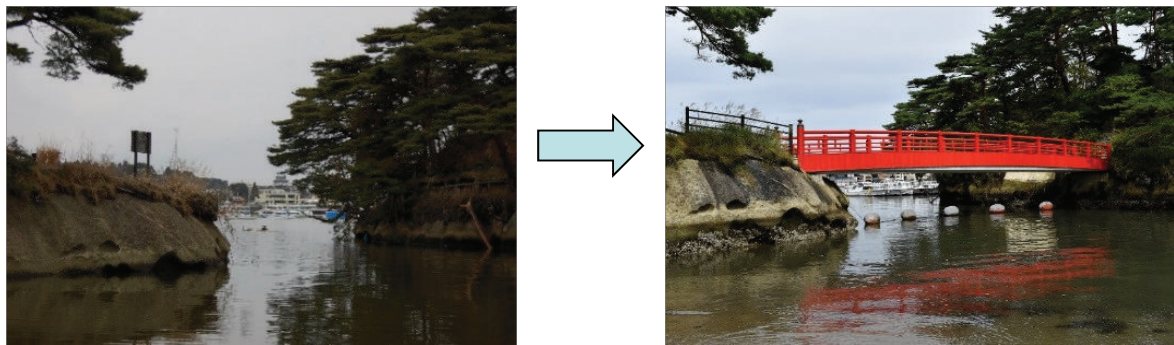


写真-1 津波により落橋した渡月橋が完成しました。

一方、町の商店街も、震災の傷跡もわからないほど生まれ変わり、未来に向けての新たな街づくりを感じられる復興となった（写真-2）。

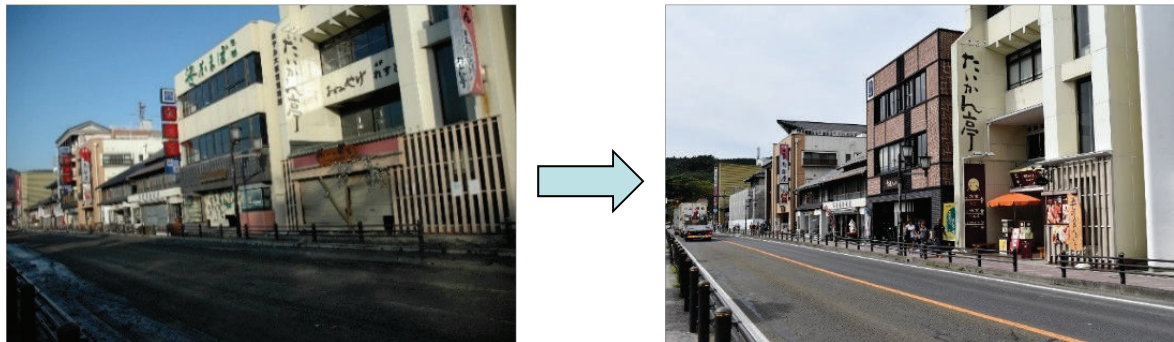


写真-2 津波被害を受けた松島海岸通りでは、景観に配慮しながら商店街の改修、建替えが進んでいます。

震災後、町の復興には、町役場を中心に住民の災害時の避難への取り組みや関連施設等の防災対策が進められてきた。主に、津波浸水域の背後地に住民や観光客等の避難生活を確保する避難施設の整備や幹線道路との交通ネットワークを確立する物資輸送・医療救急の機能の強化、さらに、海岸沿いからの迅速かつ安全な避難を可能にするための避難路が急速に整備されつつある。

一方、自然豊かな海の幸に恵まれた松島湾の漁業施設も大きな被害を受け、漁業集落の嵩上げ等による生活基盤、漁港や水産共同利用施設の整備に全力で取り組んでいる。

このように、東日本大震災の教訓を生かし、防災情報ネットワークの整備を東北地域でいち早く取り組み新しいまちづくりを創造している。

今後、住民との連携を強めながら、安心・安全なまちづくりを推進し、多くの観光客が日本三景の自然を心置きなく堪能して頂けることに引き続き復興への手綱を緩めることなく未来に向かって推進されることを期待するところである。

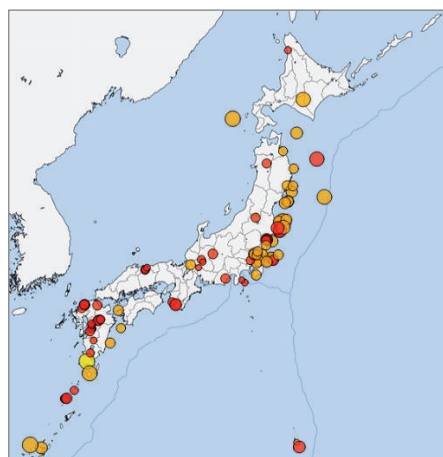
REICでは、松島町の発展を願いつつ、「情報が命を救う」の考えのもと、緊急津波避難システムの活用を提案、試験的にシステムの運用を重ね、より強固な防災観光に寄与したいと考えている。

地震データ：2017年1月～3月

地震データ：2017年1月～3月 震度4以上

発生日	発生時間	震央地名	緯度	経度	深さ	M	最大震度
3月12日	4:57	福島県沖	37° 30.7' N	141° 32.5' E	46km	M5.4	4
3月2日	23:53	日向灘	32° 38.7' N	132° 07.9' E	37km	M5.3	4
2月28日	16:49	福島県沖	37° 30.8' N	141° 22.0' E	52km	M5.7	5弱
2月27日	0:03	福島県沖	37° 04.0' N	141° 10.8' E	50km	M4.9	4
2月19日	18:19	千葉県北東部	35° 43.8' N	140° 39.8' E	52km	M5.4	4
1月18日	17:19	茨城県沖	36° 25.7' N	140° 38.5' E	53km	M4.2	4
1月11日	19:11	熊本県熊本地方	32° 54.1' N	130° 51.4' E	9km	M3.4	4
1月5日	2:53	福島県沖	37° 07.3' N	141° 21.5' E	26km	M5.6	4
1月5日	0:43	福島県沖	36° 51.7' N	140° 58.7' E	56km	M5.3	4

地震データ：2017年1月～3月 震度1以上



気象庁「震度データベース」による、2017年1月～3月末までの地震データを掲載します。上記リストは、震度4弱以上の地震を発生日順で列記しています。左記地図は、震度1以上の地震の発生場所を記しています。

平成29年になってから、緊急地震速報(警報)の発令はありませんでした。しかしながら、緊急地震速報(予報)の発令は210回あり、東北～関東地方、九州地方では地震が多発していることが伺えます。



事務局より

● 今後の予定

- 6月15日(木) 第15期 定時総会
会場:ヒューリックホール&カンファレンス
(東京都台東区浅草橋1-22-16、JR・都営浅草線 浅草橋駅前)
- 6月15日(木) REIC防災セミナー、ビジネス交流会(総会と同会場にて)
※セミナー詳細は、後日ホームページ等でご案内いたします。



(昨年度 総会・防災セミナー)

編集後記

REICニュースでは、イベントの開催告知、企業・団体PRなど、皆様からの情報を広くお待ちしております。是非お気軽にお寄せください。

新年度を迎え、新しい環境でのスタートを切られた方も多いかと思います。新たな場所で更なるご発展とご活躍をお祈りいたします。



REICニュース No.5

編集・発行 特定非営利活動法人 リアルタイム地震・防災情報利用協議会

〒111-0054 東京都台東区鳥越2-7-4 エス・アイビル4F

TEL:03-5829-6368 FAX:03-3865-1844

URL: <http://www.real-time.jp/> E-Mail: reic_jimukyoku0305@eq7realtime.org

発行日 2017年4月

※本文記事・写真等は許可無く複製、配布することを禁じます。